

報告日 令和7年12月2日  
報告回次 2日目

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	広島県庁			代表者名	湯崎英彦
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	地域政策局市町行財政課		連絡先電話番号
担当者役職	主事	担当者氏名	佐藤良亮		連絡先E-mail
住所	730-8511 広島県広島市中区基町10番52号				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	広島県市町経営改革研究会					
概要	行政改革やDX推進に携わる市町職員及び県職員を対象に、窓口業務（支所機能を含む）の効率化に向けて、デジタル技術の活用に係る考え方、機運醸成、BPR、効果的かつ低コストな取組事例などについて講演いただくとともに、県内市町の課題等について助言をいただきたい。							
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 行政手続オンライン化 その他							

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月25日	講演(実地)	10時00分	12時00分	
				活動時間（分）	120

  

2-2. 派遣場所	会場名	広島県自治総合研修センター	最寄駅	広島駅
	所在地	広島市東区光町二丁目1-14 広島県光町庁舎		

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	・都城市で実践された多数の効果的なBPR・DX事例について、現場の気づきや改善ポイント、意識醸成、実現手法、更なる改善など、様々な視点から具体的に説明いただいたことで、参加者にとって内容が理解しやすく、「まずはアナログなBPRから着手すべきという点が非常に大きな気づき」「スマートルスタートして、気づき・改善の継続が大切であると分かった」「事例紹介された内容にすぐに取り組みたい」とするコメントが多く寄せられた。 ・県内市町のHPへの助言や、生成AIの活用事例の紹介、匿名にて質問・共有できるツールの活用など、一人ひとりにとって当事者意識を持ちやすく、行革担当課、DX担当課、窓口業務担当課のいずれにとっても多くの気づきがあった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	138人
	属性	自治体職員	住民		
		人数	138	企業・団体	

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	・人口減少や職員減少に伴い、一層厳しい行財政体制となることを踏まえ、窓口業務や申請・相談対応に係る業務効率化や、支所機能の見直し（支所の維持が困難）に関して検討が必要となっている。 ・人的リソースの最適化や必要経費の縮減など、行政サービスの持続性・効率性に貢献する取組の検討に当たっては、デジタル技術の活用が不可欠である一方で、これまでの人員削減により、検討する余裕がないとする意見もあり、進め方や効果について、具体的かつ身近に考えられる機会が必要。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・各団体において、若しくは県・市町間連携を通じて、BPRとDXによって、窓口業務の軽減や、住民サービスの維持に貢献する取組を拡大していく。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①BPRとデジタル技術（コストが過大でないもの）により、窓口業務の軽減や住民サービスの維持が実現した事例の紹介及び解説（意識啓発、庁内合意、取組の具体化、住民説明など） ②先進事例の活用に当たっての留意事項（前提として必要なBPRや環境整備、意識改革など） ③県内市町の課題等について助言（インタラクティブな形式）
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・利用体験調査の進め方や効果の測定など、窓口BPRの一連の流れについて、事例をもとに具体的に説明いただいたことで、参加者が今後取り組むことについてイメージすることができた。 ・とりわけ、デジタル化は目的ではなく手段に過ぎず、高度なデジタル技術やシステムを前提にしなくとも効率化に取り組むことができると認識できたことで、「これからDXを進める上での参考になった」「X人材の重要性に気づいた」「まずは当たり前に行っている身近な業務のあり方から見直したい」といった前向きなコメントが多く寄せられた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない ・講義を受けて、各団体において窓口BPR・DXについて検討しているところである。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	・特になし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ・参加者の満足度は極めて高く、97.5%が「講義内容は関心に沿ったもの」と回答した。 ・講義内容に関して、「デジタル技術の活用以前のアナログ改革や業務のBPRが重要であると認識できた」「考え方や視点を変えることの重要性を感じた」などを多くの参加者がコメントしており、講義を踏まえた今後の展望については、「証明書交付に係るHPの見直しに早急に取りかかりたい」「窓口利用体験調査などを行い、窓口混雑緩和や職員の業務効率化に取り組みたい」など、実践を志向するコメントが多かった。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ⑤その他 ・今後の進め方については、市町の意向を確認しながら検討していく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	・各団体において、若しくは県・市町間連携を通じて、窓口BPRとDXが進み、住民と職員の双方にとって負担が軽減して、持続可能な行政サービスの提供体制が確保されている状態。

#### 5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  揭載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

